

14	たのしい科学教室わくわく科学館	市民団体
<p>わくわく科学館では、 科学実験や科学遊び・ものづくり・科学読み物を通して、(科学の目・分子の目で考えることのたのしさ、科学のたのしさ)を地域の方たちに伝えていきたいと活動しています。</p> <p>また、館内の展示・図書・パズルコーナーでは、(自然科学等のおもしろさ・たのしさを体験できる場)を提供しています。</p> <p>環境フェスタでは、分子の目から(ゴミと環境)を考える展示やマツバの気孔を顕微鏡</p> <p>で観察し、交野市の大気の流れを調べてみてください。</p> 		
Eco Challenge	科学の目・分子の目で見つめると、地球環境が見えてくる	
<p>名称 たのしい科学教室わくわく科学館 所在地 〒576-0052 交野市私市6-10-2 連絡先 TEL080-3819-7292 E-mail: rei07sc@y3.dion.ne.jp 代表者又は担当者名 坂野 玲子</p>		

15	地域活動支援センター みのり	社会福祉法人
<p><b>天ぷら油で温暖化対策！！</b> 家庭で使った天ぷら油、廃油をバイオディーゼル燃料に変える。バイオディーゼル燃料は二酸化炭素の排出がなく、それをガソリンとして使用すれば、「温暖化対策」につながる。また、使用済み油を活用するという点で「リサイクル」にもなり、「温暖化対策」と「リサイクル」の2点において環境に対する効果がみられる。地域の方々から廃油を提供してもらうことで、地域の皆様も環境保全に貢献している。「地域みんなで環境を守ろう！そして、地域のみんでこの豊かな交野の自然を未来へ残そう！伝えよう！」</p> <p><b>命を救うエコキャップ！！</b> 要らなくなったペットボトルのキャップを回収する。回収したキャップはエコキャップ推進協会により再資源化事業者へ売却、その売却益をワクチン購入資金とし、JCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)へ寄付する。 キャップは400個で10円になりポリオワクチンは1人分20円。 <u>20円で一人の子どもの命が救えます！</u></p>		
Eco Challenge	リサイクルを有効活用する！！	
<p>名称 社会福祉法人心生会地域活動支援センター みのり 所在地 〒576-0022 交野市藤が尾3丁目5番4号 連絡先 TEL/ FAX 072-893-9588 E-mail: minorin-117@ceres.ocn.ne.jp 代表者又は担当者名 柏木 元 石田恵美</p>		